

◆区政改革について

①推進会議の提言や区民の意見は素案にどう生かしたのか。②行政改革との違いは。③スクラップアンドビルドのスクラップの取り組みは。④ビジョン・アクションプランと区政改革計画の関係は。

◆子育て施策について

①待機児童の定義と本年度結果について区の見直し。②児童人口増を意味し新たな需給計画策定を。③低所得者層に配慮した保育料見直しを。④区立園民営化の推進は。⑤私立園への支援拡充と保育サービスの充実。⑥豊玉保育園と併設の(仮称)豊玉地域集

◆高齢者対策について

①特別養護老人ホーム整備の現状は。②介護人材確保は。③高齢者相談センターの機能・体制強化を。また、中村地区等不便地域に設置を。④街かどケアカフェの増設を。⑤2施設24床着工、今後約120床整備予定。国有地

◆熊本地震を受け、練馬区

①熊本地震を受け、練馬区は地域防災計画の見直しを。②災害対策の強化のために自衛隊との連携強化を。③学校現場での主催者教育は、中立・公平に進めるべき。

◆区政改革計画について

①区政改革計画の区長の考えは。②待機児童ゼロ作戦の取り組みは。③数値目標の考え方は。④協働の体制づくりは。⑤元気高齢者の社会参加の仕組みづくりを。⑥外郭団体との関与の見直しを。

◆保育園の委託数等は公共施設

①市民感覚で行政を見直す。②目前の待機児童解消に全力で取り組む。③保育園の委託数等は公共施設

会所の施設概要と整備予定は。

①国の新基準に基づく。待機児童ゼロ作戦に全力で取り組む。②検討。③見直しは急務。早期に案を示す。④今年度策定する公共施設等総合管理計画で示す。⑤今後効果的に支援。⑥会議室等設置。本年7月

◆地域の安全対策について

①防犯カメラ設置の現状と目標は。②維持管理経費の活用等で整備推進。③区独自の確保策を充実。④本所と支所の役割分担を見直し支援機能を強化。支所は出張所跡施設等への移転を進める。④区立施設の活用を検討。

◆高齢者対策について

①特別養護老人ホーム整備の現状は。②介護人材確保は。③高齢者相談センターの機能・体制強化を。また、中村地区等不便地域に設置を。④街かどケアカフェの増設を。⑤2施設24床着工、今後約120床整備予定。国有地

◆熊本地震を受け、練馬区

①熊本地震を受け、練馬区は地域防災計画の見直しを。②災害対策の強化のために自衛隊との連携強化を。③学校現場での主催者教育は、中立・公平に進めるべき。

◆区政改革計画について

①区政改革計画の区長の考えは。②待機児童ゼロ作戦の取り組みは。③数値目標の考え方は。④協働の体制づくりは。⑤元気高齢者の社会参加の仕組みづくりを。⑥外郭団体との関与の見直しを。

◆保育園の委託数等は公共施設

①市民感覚で行政を見直す。②目前の待機児童解消に全力で取り組む。③保育園の委託数等は公共施設

区政改革の断行で暮らし続けられる街づくり

練馬区議会自由民主党 小林 みつぐ

◆高齢者対策について

①特別養護老人ホーム整備の現状は。②介護人材確保は。③高齢者相談センターの機能・体制強化を。また、中村地区等不便地域に設置を。④街かどケアカフェの増設を。⑤2施設24床着工、今後約120床整備予定。国有地

◆熊本地震を受け、練馬区

①熊本地震を受け、練馬区は地域防災計画の見直しを。②災害対策の強化のために自衛隊との連携強化を。③学校現場での主催者教育は、中立・公平に進めるべき。

◆区政改革計画について

①区政改革計画の区長の考えは。②待機児童ゼロ作戦の取り組みは。③数値目標の考え方は。④協働の体制づくりは。⑤元気高齢者の社会参加の仕組みづくりを。⑥外郭団体との関与の見直しを。

◆保育園の委託数等は公共施設

①市民感覚で行政を見直す。②目前の待機児童解消に全力で取り組む。③保育園の委託数等は公共施設

◆環境

①地域活動団体等の理解と協力を得て積極的に増やす。②今後4年間で約1千600本調査。③積極的に検討。

◆大江戸線延伸について

交通政策審議会の答申内容への評価は。①この間の都との協議が成果をあげた。実現を目指す。

◆公共交通の充実について

公共交通空白地域改善計画を見直し、バス交通の施策を展開すべき。所見は。今年度末を目途に見直し、一層の充実に取り組み。

◆西武新宿線の立体化について

野方駅から都立家政駅・鷺ノ宮駅を含む井沢駅付近の鉄道立体化の進捗状況は。連立事業の次期事業化を目指す準備中区間となった。

◆みどりの施策について

①みどりの取組は。②樹木精密診断の調査内容は。③シダレザクラの植栽を。

◆高齢者対策について

①特別養護老人ホーム整備の現状は。②介護人材確保は。③高齢者相談センターの機能・体制強化を。また、中村地区等不便地域に設置を。④街かどケアカフェの増設を。⑤2施設24床着工、今後約120床整備予定。国有地

一般質問(要旨)

◆順天堂練馬病院について

①今後の病院増築のスケジュールは。また増築に伴う医療機能の拡充内容、区の支援内容は。②医師や看護師の人材確保の方法は。③急性期病院として果たす役割は。④区の基幹病院としてさらなる医療機能、施設の充実について検討が必要。区の考えは。

◆地域医療

①平成31年12月増築工事完了見込み。救急医療、周産期医療等を拡充。医療機能の拡充・増床経費の一部を補助。②大学附属病院の利点を生かす。③急性期後の適切な医療・介護の支援。④関係機関と調整し検討。

◆都市計画道路とまちづくり

①区は東京全体の優先整備路線完成時と同等の約8割の整備率となる。②現在、事業計画策定に向け検討中。区は準備組合に対し、指導・助言等で支援。③道路整備の進捗に併せて、安心して買物ができる歩行者環境、公園を生かした賑わいある商店街づくりを取り組みは。

◆防災・減災対策について

①耐震化の基準見直しを。②女性が安心して過ごせる避難拠点に。③在宅や車中泊の被災者へ医師等の派遣体制の構築を。④在宅避難生活訓練を活用した避難訓練を。⑥中高層住宅の防災力向上を。⑦小学校で公衆電話のかけ方講習会を。⑧ドローンの活用を。

◆危険管理

①国の動向を注視し対応。②授乳スペースの確保等女性に配慮した運営のマニュアル化を進める。③医師会等と協力し検討。④在宅避難の意識を高める。⑤ボードを活用した訓練を拡大。⑥中高層住宅の防災対策ガイドブック活用し意識啓発。⑦さまざまな緊急連絡の方法を踏まえ検討を進める。

◆教育について

①PTAの代表等が参加する拡大版総合教育会議の実施を。②不登校対策として支援ネットワークの構築を。③施設一体型の小中一貫教育校の設置は、区内4エリアで積極的に推進を。

◆順天堂練馬病院90床増床へ！

①今回の都市計画道路整備後の区と都全域とを比較した整備率は。②補助23号線沿線の現在の再開発事業の検討状況と区の関わりは。③石神井公園駅南口商店街のまちづくりに対する区の考えは。④石神井公園駅周辺地区まちづくりについて、地域住民の理解を得るための取り組みは。

◆農業振興等について

①体験事業は練馬ならではの都市農業事業。農業振興とともに、PRの充実を。②「果樹あるファーム」事業の進行状況、今後のスケジュールは。③区が中心に地産地消の大切さ等のPRを。④区内の充実やSNS等を活用したPRを進める。④鉄道事業者と協議中。実現に向け努力。

◆金融知識の教育について

①児童・生徒にとつて、健全な消費生活を送るための知識・理解や、金融の計画的利用に関する能力を身につけることは重要。お金を借りる仕組みやクレジットカード使用のリスク等の指導を。②自己破産者を生まないために、特別な事情を除き、住宅ローン以外は借りるべきではないと指導すべき。区の考えは。③子どもたちには株式についての知識が必要。区の意見は。

◆お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習

①お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。②お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。③お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。

◆お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習

①お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。②お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。③お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。

◆お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習

①お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。②お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。③お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。

順天堂練馬病院90床増床へ！

練馬区議会自由民主党 西山 きよたか

◆順天堂練馬病院90床増床へ！

①今回の都市計画道路整備後の区と都全域とを比較した整備率は。②補助23号線沿線の現在の再開発事業の検討状況と区の関わりは。③石神井公園駅南口商店街のまちづくりに対する区の考えは。④石神井公園駅周辺地区まちづくりについて、地域住民の理解を得るための取り組みは。

◆農業振興等について

①体験事業は練馬ならではの都市農業事業。農業振興とともに、PRの充実を。②「果樹あるファーム」事業の進行状況、今後のスケジュールは。③区が中心に地産地消の大切さ等のPRを。④区内の充実やSNS等を活用したPRを進める。④鉄道事業者と協議中。実現に向け努力。

◆金融知識の教育について

①児童・生徒にとつて、健全な消費生活を送るための知識・理解や、金融の計画的利用に関する能力を身につけることは重要。お金を借りる仕組みやクレジットカード使用のリスク等の指導を。②自己破産者を生まないために、特別な事情を除き、住宅ローン以外は借りるべきではないと指導すべき。区の考えは。③子どもたちには株式についての知識が必要。区の意見は。

◆お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習

①お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。②お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。③お金の計画的な使い方やクレジットカードの計画的な活用、リスクを学習。

◆想定外を想定内に！災害に強いまち練馬を！

①大規模な災害に備える。②災害に強いまち練馬を。③災害に強いまち練馬を。④災害に強いまち練馬を。

◆想定外を想定内に！災害に強いまち練馬を！

①大規模な災害に備える。②災害に強いまち練馬を。③災害に強いまち練馬を。④災害に強いまち練馬を。

◆想定外を想定内に！災害に強いまち練馬を！

①大規模な災害に備える。②災害に強いまち練馬を。③災害に強いまち練馬を。④災害に強いまち練馬を。

◆想定外を想定内に！災害に強いまち練馬を！

①大規模な災害に備える。②災害に強いまち練馬を。③災害に強いまち練馬を。④災害に強いまち練馬を。

◆想定外を想定内に！災害に強いまち練馬を！

①大規模な災害に備える。②災害に強いまち練馬を。③災害に強いまち練馬を。④災害に強いまち練馬を。

◆想定外を想定内に！災害に強いまち練馬を！

①大規模な災害に備える。②災害に強いまち練馬を。③災害に強いまち練馬を。④災害に強いまち練馬を。

一般質問は、6月2日・3日・6日の3日間、11名の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は、定例会閉会後、概ね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。

◆区長の基本姿勢について

問 ①区民との協働に対する考え方は。②ひとり親家庭や生活保護率の増加など、格差と貧困についての対応は。③大江戸線早期延伸に向けた今後のさらなる取り組みは。

副区長 ①自発的に地域の支え合いを広げていく運動を支援したい。福祉 ②今年度、ひとり親家庭等の支援が必要なる生活実態を把握し、効果的な施策を検討。技監 ③今年度、大江戸線延伸促進大会を開催し、事業化に向けた区民全体の機運を一層高める。

◆財政について

問 ①持続可能な財政基盤の構築において歳入歳出構造の改革をどのように進めるのか。②財政調整基金の目標額設定にあたり、今後の区財政の見通しを改めて問う。③各種基金の効果的な運用で自主財源の体制強化を。

◆区長の基本姿勢について

問 ①憲法を守る立場を鮮明にし、安倍政権の明文改憲に反対せよ。②消費税増税は延期でなく断念を。区の見解は。総務 ①論議は国政の場で行うべき。区の意思を示す考えない。企画 ②区への影響見極めの確かな財政運営に努める。

◆区政改革計画案案について

問 少子高齢化問題などを理由に区民の危機感をおおっている。不要不急の道路に予算を割くのではなく、福祉や暮らし、営業を最優先に。

◆区政改革

少子高齢化に伴う社会保障関係経費、施設改築経費の増は不可避。区民サービス向上と持続可能性を両立させるために改革に取り組む。

◆高齢者施策について ①介護報酬の切り下げについて、現場の実態を調査せよ。②地域包括支援センター

◆区民協働の推進と持続可能な財政基盤の構築

練馬区議会民進党・無所属クラブ 井上 勇一郎

問 ①区民に財政の現状を示すとともに施策や事務事業を不断に見直す。②次期アクションプランで、区政改革取り組み後の3か年の財政フレームを示す。③資金管理運用計画に基づく効率的な運用に

◆外郭団体改革について

問 ①外郭団体の統合は、看板の架け替えで終わらせるのではなく、区民にとって実質的な負担が減少する改革を求める。②民間にできる事は民間にという原則を徹底し、外郭団体の肥大化を招かない努力を。③O Bの天下りの見直

◆高齢者施策

問 ①高齢者基礎調査を実施予定。②増員等を実施。今後、出張所跡施設の活用を検討、相談機能をさらに充実。

◆保育園委託・民営化について

問 ①低い保育士賃金が委託・民営化でさらに減額。また経営破綻の保育園も全国で多

◆認可保育所の増設で874人の待機児なくせ

日本共産党練馬区議団 とや 英津子

問 ①子育て支援は、本来、国が総合的に取り組むべき政策。区内で最大の定員増を行

◆中学校の部活動について

問 ①部活動での顧問教員に対する負担が問題視されているが、区立中学校の部活動顧問の決定プロセスは。②修学旅行と部活動の大会がバッティングし、修学旅行に参加できない生徒がいるが、修学旅行対策委員会の検討結果は。

副区長 ①校長が部の活動状況や教員の専門性等を総合的に勘案して判断し、本人と協議して決定。②都の修学旅行対策委員会が日程重複を避けるよう調整を図る。

◆動物愛護関連について

問 飼育動物の殺処分ゼロを目指すための施策は。健康 他自治体の事業の効果

◆保育所待機児解消について

問 ①4月の保育所等の待機児は874人と昨年より118人増。区の認識は。②待機児生む要因について区の検証は。③待機児解消のため、区立認可保育所整備計画を。④入所できない子どもの状況を調査し、行き場のない子をなくせ。

◆耐震計画の見直しを。

問 耐震計画の見直しを。②耐震助成対象を新耐震基準まで拡大を。③家具転倒防止器具配付事業の対象拡大と継続を。④感震ブレイカーの普及を。

◆危機管理

①防災計画は検討。耐震計画は国の動向を注視。②旧耐震基準の建物が多く、対象拡大の考えはない。③室内の安全対策の動機付けが目的。拡大・継続の考えはない。

④国の動向等を注視し検討。主権者教育について ①立憲主義の観点から憲法や政治的教養を教育を日

◆区政改革について

問 ①形骸化した事業の削減が、財政構造の構築や区民ニーズの対応に必要。所見は。②財政の健全性の観点からも職員数削減が必要。所見は。③改革の柱は保育所の委託化・民営化。現状認識は。

副区長 ①必要性等の薄くなった事業は縮小・廃止し、ニーズに応える施策を立案。人事戦略 ②職種構成の適正化等で削減してきた役割は大きい。

◆区立保育所の委託等について

問 ①さらなる委託化・民営化が必要。所見は。②保育所の評価方法等の検討は。こども ①委託化は公共施設等総合管理計画で示す。民営

◆区長の基本姿勢について

問 ①国の「緊急事態条項」の創設の動きに対し、現行憲法では「区民の命と財産」を守れないと考えるか。②区政改革計画で委託・民営化を進めた先の区の役割とは何か。

◆危機管理

区民の生命や財産を守ることは区として当然の責務であり、憲法改正とは関係ない。区政改革 ②行政の役割は、民間の役割をきちんと評価し適切に支援すること。

◆防災について

①調乳不要の液体ミルクの開発・製造を国に働きかけろべき。②災害時等の人的対応の最低基準「スファイア基準」では、災害時のトイレの

現在の避難拠点における設置

◆東京五輪・パラリンピックへの取り組み！

練馬区議会自由民主党 田中 ひでかつ

副区長 ①既存病院増床や新病院誘致により、超高齢社会に対応。②基準病床数の見直しが見込まれる。③PRに努め誘致。④連携を進める。

◆世界都市農業サミットについて

問 ①サミット開催の取り組み状況は。②区の最重要課題としての区長の所見は。③ねりマルシェと果樹あるファーム

◆清掃工場について

問 ごみ削減の工夫で、膨大な費用を要する光が丘工場の建て替えはやめるべき。

◆環境

23区全体のごみを効率かつ安全に全て焼却処理するため、確実に整備を進める。

◆住宅マスタープランについて

問 区営住宅における介護目的での浴槽改修の相対体制の改善を。

技監 区営住宅、高齢者等の各窓口で内容に即した相談や情報提供をし、関連部署と連携した取り組みを行っている。

◆都市農業について

副区長 ①今後、課題解決に努める。②病院の経常収支見込等を十分に勘案し取り組みを持つ参加都市を選定中。

問 ①「練馬区農の学校」の現状は。②農の学校の本来の目的達成には改善が必要。所見は。③農の風景育成地区制度を広く適用すべき。所見は。

◆都市農業

①17人がねりま農サポーターとして農業者を支援。②講習内容の改善等を行う。③他地区への適用を検討。

◆地域文化

①練習会場施設の情報提供等の要請。本年7月に担当課設置。②候補施設として組織委員会に申し込む。

◆地域医療

①バランスの取れた医療体制整備への所見は。②都が策定中の地域医療構想の影響は。③同一医療圏から病院誘致の推進を。④介護と医療の

◆地域医療

①バランスの取れた医療体制整備という基本的な考え方は変わらない。引き続き病床確保等に全力を尽くす。②区との協定に基づき、

化も取り組む。②保護者がサービスを選択しやすく客観的に評価できる仕組み等を構築。

◆東京五輪・パラリンピックへの取り組み！

練馬区議会自由民主党 田中 ひでかつ

副区長 ①既存病院増床や新病院誘致により、超高齢社会に対応。②基準病床数の見直しが見込まれる。③PRに努め誘致。④連携を進める。

◆世界都市農業サミットについて

問 ①サミット開催の取り組み状況は。②区の最重要課題としての区長の所見は。③ねりマルシェと果樹あるファーム

◆清掃工場について

問 ごみ削減の工夫で、膨大な費用を要する光が丘工場の建て替えはやめるべき。

◆環境

23区全体のごみを効率かつ安全に全て焼却処理するため、確実に整備を進める。

◆住宅マスタープランについて

問 区営住宅における介護目的での浴槽改修の相対体制の改善を。

技監 区営住宅、高齢者等の各窓口で内容に即した相談や情報提供をし、関連部署と連携した取り組みを行っている。

◆東京五輪・パラリンピックへの取り組み！

練馬区議会自由民主党 田中 ひでかつ

副区長 ①今後、課題解決に努める。②病院の経常収支見込等を十分に勘案し取り組みを持つ参加都市を選定中。

◆都市農業について

問 ①「練馬区農の学校」の現状は。②農の学校の本来の目的達成には改善が必要。所見は。③農の風景育成地区制度を広く適用すべき。所見は。

◆都市農業

①17人がねりま農サポーターとして農業者を支援。②講習内容の改善等を行う。③他地区への適用を検討。

◆地域文化

①練習会場施設の情報提供等の要請。本年7月に担当課設置。②候補施設として組織委員会に申し込む。

◆地域医療

①バランスの取れた医療体制整備への所見は。②都が策定中の地域医療構想の影響は。③同一医療圏から病院誘致の推進を。④介護と医療の

現在の避難拠点における設置

一般質問(要約)

「市民自治」を基本にした区政改革を

生活者ネットワーク やない 克子

問 計画はどうなっているか。②大泉学園町の新病院は外来を行い、地域包括ケアシステムをすすめるべきだが、地域にどう開かれるのか。地域医療 ①バランスの取れた医療体制整備という基本的な考え方は変わらない。引き続き病床確保等に全力を尽くす。②区との協定に基づき、

化も取り組む。②保護者がサービスを選択しやすく客観的に評価できる仕組み等を構築。

◆区政改革・財政について

問 ①将来世代のために持続可能な社会を築く区政改革にむけた区長の意気込みを。②自主財源確保策として駐車場のコインパーキング化を。③広告収入やクラウドファンディングのような新しい財源確保策を。④区立施設の案内表示はユニバーサルデザインの視点を。

将来世代のための改革を！

練馬区議会自由民主党

むらまつ 一希

区長 ①長期的な区民全体の利益という観点に立ち、全力で取り組む。総務 ②事業者の提案を参考に検討中。今後、試行し、課題を整理のうえ進める。③他自治体の先進事例を研究し、積極的に取り組む。④今後、さらに改善を行う。

◆中小企業振興について

問 ①中小企業活性化のための支援を。②まちゼミ支援にYouTubeの活用や各個人の取り組みをまとめたPR

性を高める研修、経験や職層に応じた研修を体系化し実施。⑤講演や交流の機会を増やす。

◆性的マイノリティの権利保障

問 ①マイノリティが直面する問題は、社会全体の問題である。学校の授業で「違い」を「個性」ととらえ認め合うべきことを発信すべきでは。②性的マイノリティに関わる教員研修プログラムを策定すべきでは。③相談窓口の周知拡充を。④区立施設に情報コーナーの設置と、当事者と支援者の交流機会を設けるべきでは。

マイノリティが住みやすい社会のために！

市民の声ねりま 岩瀬 たけし

教育振興 ①各校が自校の実情を踏まえ児童・生徒の発達段階に応じ工夫。②人権教育研修で人材育成し、各校の取り組みを支援。総務 ③窓口の充実に向け準備中。児童生徒にも周知。④効率的な情報発信方法を工夫。支援者のワークショップ等を予定。

に基づく区の対策、対応は。②区の施策において、対象を「本邦に適法に居住するもの」に限定すべきではない。区の考えは。③区立施設における外国人に対する差別的な落書き件数は。④ヘイトスピーチを禁止、拡散防止するための対策を。⑤多文化共生を推進

5月までに13件。④法定の相談体制の整備、教育の充実等の対策について検討を進める。地域文化 ⑤係の事務分掌として明確に位置付けている。⑥新たな団体を設ける考えはない。⑦検討を進めている。

◆待機児童対策 ①新基準の待機児童を4

◆まちづくりについて ①大江戸線延伸の区の費用負担は。②230号線と駅周辺のまちづくりについて、用途地域や土地利用のあり方は。

◆生活保護について ①日野市で起きた生活保護の不適切な事務処理をどうとらえているか。②日野市ではケースワーカーの担当世帯数の過重が不適切処理の一因とされているが、練馬区も同様の過重な状況にあり改善すべき。考えは。③事務処理の

◆災害対策について ①熊本地震の応援に入った職員の経験をどのように共有し今後を生かすか。②熊本

◆地域福祉について ①地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーターの役割はどう整理しているか。②総合事業における協働の参加メンバー、開始時期は。

◆自殺対策について ①区内で起こった自殺の実態の分析をすべき。②メンタルケアにとどまらない包括的な「生きる支援」を進めるための自殺対策計画の策定を。

◆健康 ①今後、詳細な分析を進める。②国の大綱等を勘案し区の実情を踏まえ取り組む。③民生委員等にゲートキーパー研修を実施し、活動に生かしている。鉄道事業者等と連携し、ポスター掲示等啓発に引き続き取り組む。教育振興

◆福祉 ①区では組織的なチェック体制等で適正に事務処理。②ケースワーカーをさらに増員し、職員の相談支援能力を

◆区長 ①被災自治体の教訓等

◆高年齢者 ①地域福祉コーディネーターは生活支援コーディネーターの役割も担い、高齢者を地域活動につないでいる。

一般質問(要旨)

地域での「生きる支援」の充実を

市民ふくしフォーラム

かとうぎ 桜子

問 ①熊本地震の応援に入った職員の経験をどのように共有し今後を生かすか。②熊本

◆高年齢者 ①地域福祉コーディネーターは生活支援コーディネーターの役割も担い、高齢者を地域活動につないでいる。

◆高年齢者 ②サービスを提供するNPO団体等約20団体が参加し、6月設置予定。

日本を代表するバイオリニスト 大谷康子さんが演奏を披露

定例会初日の開会前に、本年4月1日に公益財団法人練馬区文化振興協会の理事長に就任したバイオリニストの大谷康子さんが、議場でバイオリン演奏を披露しました。議場で演奏が披露されるのは今回が初めてです。議場内の区議会議員や傍聴席の区民からは大きな拍手が送られました。



定例会の開催予定

次回の定例会は、9月6日(火)から開催する予定です。

傍聴受付

※本会議 西庁舎9階の傍聴席入口 \*委員会 西庁舎5階の議会事務局

短 信

電話番号の変更

むらまつ 一希 議員 <新電話番号> 03-6914-9512

熊本県・大分県へ 義援金を贈りました

練馬区議会は、4月14日以降に発生した平成28年熊本地震により甚大な被害を受けた熊本県と大分県に対して、4月26日に義援金を贈りました。